

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》
平成19年5月
(第18～22週)

発行年月日:平成19年(2007年) 6月 13日
発行 滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年		感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年	
		1～4月		5月		1～12月				1～4月		5月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	東部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-		日本紅斑熱	0	0	0	7	0	45
	ペスト	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	1	0	0	0	7
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	結核 ^(*)	18	913	25	1,863	-	-	ブルセラ症	0	2	0	0	0	5	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	ペネズエラウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
		0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0	
三類	コレラ	0	4	0	4	1	47	ボツリヌス症	0	1	0	1	0	2	
	細菌性赤痢	1	166	1	32	26	483	マラリア	0	15	0	3	0	61	
	腸管出血性大腸菌感染症	4	236	4	277	54	3,910	野兔病	0	0	0	0	0	0	
	腸チフス	0	11	0	5	0	72	ライム病	0	0	0	0	0	13	
	パラチフス	0	6	0	1	0	24	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
四類	E型肝炎	0	18	0	7	2	70	リフトバレー熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	類鼻疽 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	A型肝炎	0	58	0	19	21	316	レジオネラ症	1	122	0	43	11	508	
	エキノコックス症	0	5	0	1	0	20	レプトスピラ症	0	3	0	0	0	24	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	ロッキー山紅斑熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	
	オウム病	0	8	0	3	0	22	五類	アメーバ赤痢	5	239	2	66	8	738
	オムスク出血熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	ウイルス性肝炎	0	51	1	19	0	275	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	急性脳炎	1	69	0	32	1	160	
	キャサナル森林熱 ^(*)	0	0	0	0	-	-	クリプトスポリジウム症	0	2	0	1	0	14	
	Q熱	0	3	0	0	0	2	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	53	0	14	0	177	
	狂犬病	0	0	0	0	0	2	劇症型溶血性 レンサ球 菌感染症	0	35	0	10	6	107	
	コクシジオイデス症	0	2	0	0	0	2	後天性免疫不全症候群	3	400	2	141	8	1,301	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	ジアルジア症	0	16	0	1	1	87	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	髄膜炎菌性髄膜炎	0	5	0	5	0	14	
	西部ウマ脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	
	ダニ媒介脳炎 ^(*)	0	0	0	0	-	-	梅毒	0	158	0	71	4	625	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	破傷風	0	17	0	13	1	115	
つつが虫病	0	45	0	25	0	397	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0		
デング熱	0	19	1	3	0	57	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	22	0	9	0	79		

- : 感染症法の改正以前は未集計 (*): 感染症法の改正後(H19.4.1)から集計

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分

*2 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含む

滋賀県における全数報告 感染症の概要(5月)

<結核>

性別:男性 18名、女性 7名
類型:患者 24名、無症状病原体保有者 1名
病型:肺結核 16名
その他の結核 9名

<細菌性赤痢> 男性・33歳

海外からの帰国後に発症し、赤痢菌(ソネ型)が検出されました。推定感染地域は中国です。

<腸管出血性大腸菌感染症>

散发事例:4名(全員女性)
年齢:9歳、14歳、20歳、40歳
血清型・毒素型:
全員、O157・VT1&VT2

<デング熱>

男性・32歳
推定感染地域はインドネシアです。

<アメーバ赤痢>

女性・24歳、女性・32歳
病型は腸管アメーバ症および腸管外アメーバ症で推定感染地域はスペイン、フランスおよび日本国内です。

<ウイルス性肝炎>

女性・25歳
病型はB型肝炎で、推定感染経路は異性間性的接触です。

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といい、また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

5月の概要

<インフルエンザ>

第19週(5/7~5/13)以降、すべての保健所管内の定点当たり患者数が1.00以下となり、インフルエンザの流行はほぼ終息していました。

<小児科定点疾患>

咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、水痘および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は先月より増加し、RSウイルス感染症は減少しました。その他の疾患については微増または横ばいとなっていました。感染性胃腸炎は先月同様、昨年と同時期よりかなり多く発生しており、県内のウイルス検出状況ではA群ロタウイルスが多く検出されています。また、百日咳は草津および高島から、風しん(三日はしか)は東近江から、麻しんは草津からの報告がありました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月よりかなり増加し、草津および甲賀からの報告が多くなっていました。また、基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎はやや少なくなっており、その他の基幹定点疾患の報告はありませんでした。

<警報および注意報発生状況>

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による警報および注意報の発生状況は下記のとおりです。

<各定点の対象疾患>

疾患名	18週 4/30~5/6	19週 5/7~5/13	20週 5/14~5/20	21週 5/21~5/27	22週 5/28~6/3	警報開始基準値	警報継続基準値	注意報開始基準値
咽頭結膜熱(プール熱) 保健所・定点当たり患者数					大津・2.20	2.00	0.10	
感染性胃腸炎 保健所・定点当たり患者数					長浜・20.50	20.00	12.00	
水痘 保健所・定点当たり患者数	大津・4.29	甲賀・5.25 高島・4.50	甲賀・4.25		草津・4.00 甲賀・4.25	7.00	4.00	4.00
伝染性紅斑(リンゴ病) 保健所・定点当たり患者数	甲賀・1.50	甲賀・3.25	甲賀・3.25	甲賀・5.50	甲賀・2.00	2.00	1.00	
百日咳 保健所・定点当たり患者数					高島・1.00	1.00	0.10	

定点	疾患名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻しん、クラミジア肺炎(オウム病を除く)

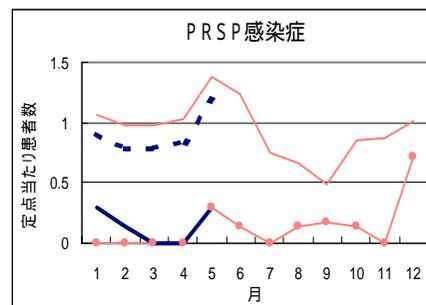
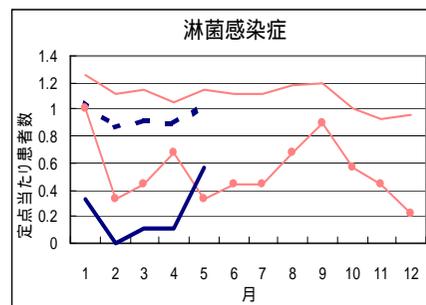
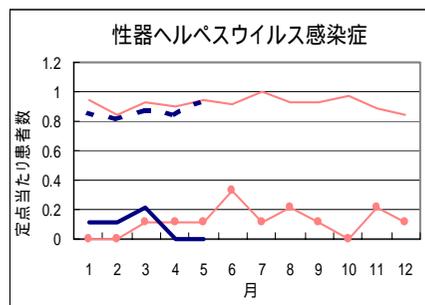
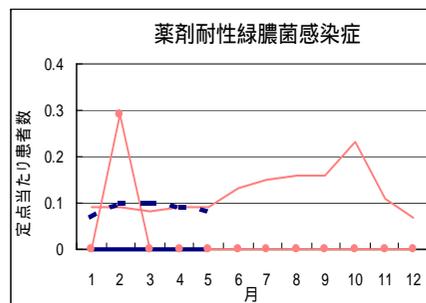
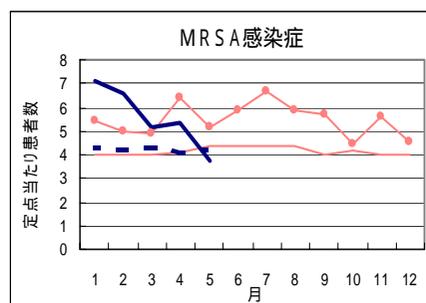
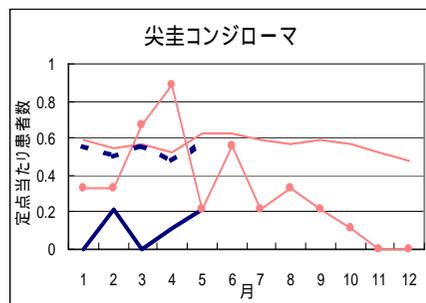
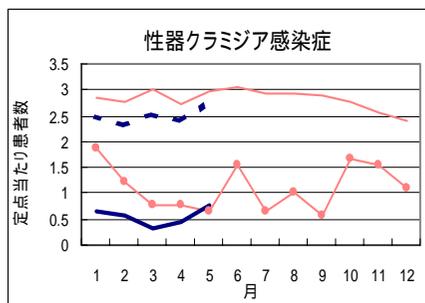
：警報開始基準値または警報継続基準値を超えています。 ;注意報開始基準値を超えています。

* 数字はすべて定点当たり患者数(人)です。注意報開始基準値で数字が入っていないものは、注意報の対象外です。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>) において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成19年5月)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	5	3	4	7								25
	定点当たり	0.67	0.56	0.33	0.44	0.78								2.78
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	1	2	0	0								4
	定点当たり	0.11	0.11	0.22	0	0								0.44
尖圭コンジローマ	罹患数	0	2	0	1	2								5
	定点当たり	0	0.22	0	0.11	0.22								0.55
淋菌感染症	罹患数	3	0	1	1	5								10
	定点当たり	0.33	0	0.11	0.11	0.56								1.11
MRSA感染症	罹患数	50	46	36	37	26								195
	定点当たり	7.14	6.57	5.14	5.29	3.71								27.85
PRSP感染症	罹患数	2	1	0	0	2								5
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	0.29								0.72
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0								0
	定点当たり	0	0	0	0	0								0

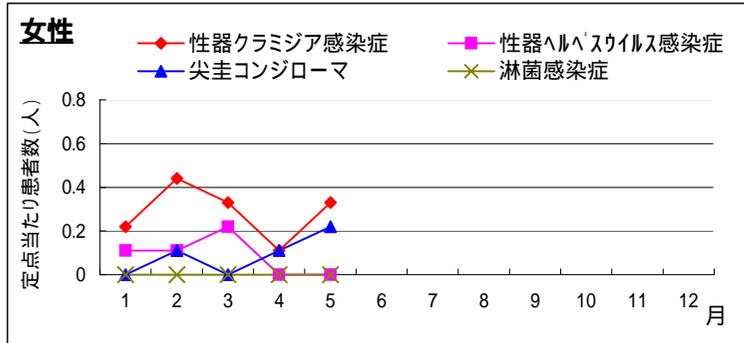
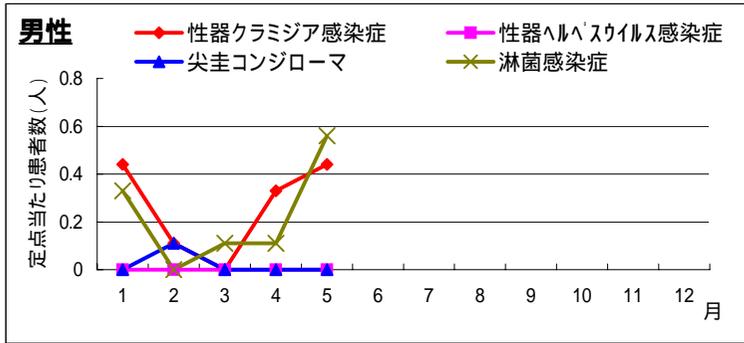


戻る

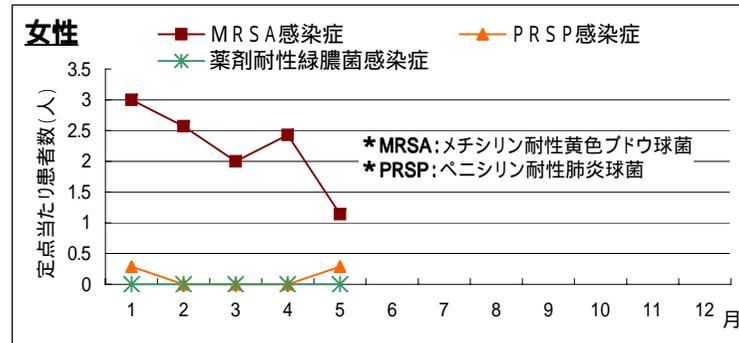
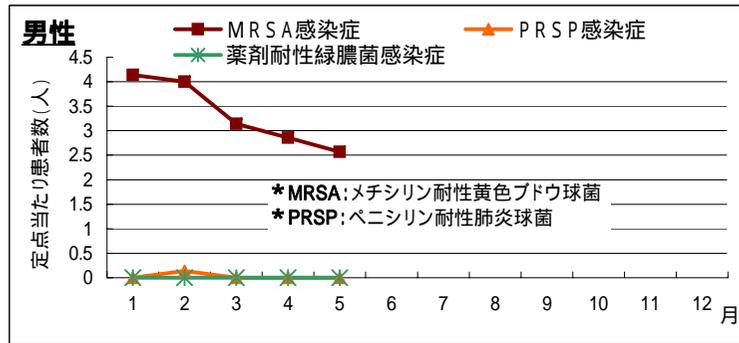
- H18 { 滋賀 ●—●
- { 全国 ———
- H19 { 滋賀 ●—●
- { 全国 ●—●

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

性感染症定点における疾患別発生状況 (H19.5)



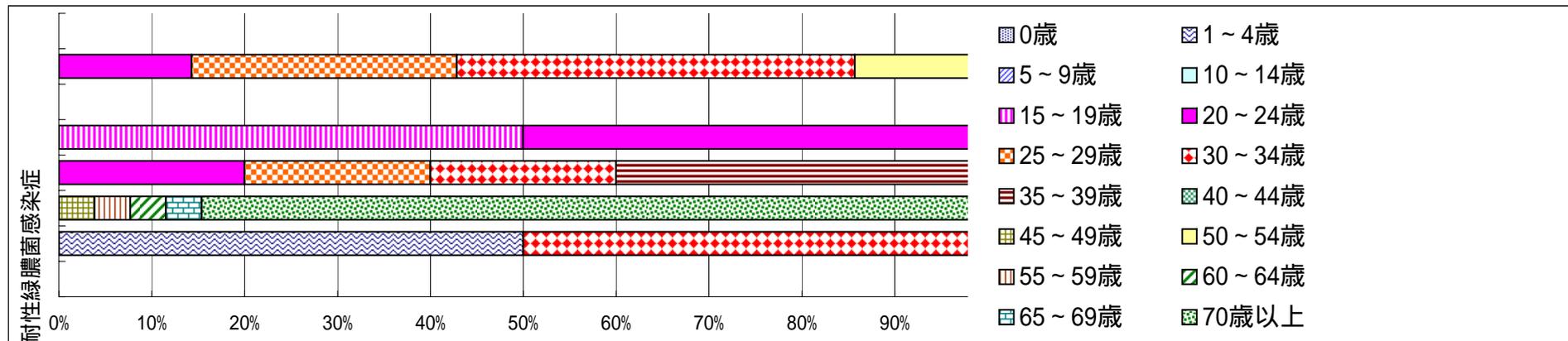
基幹定点における疾患別発生状況 (H19.5)



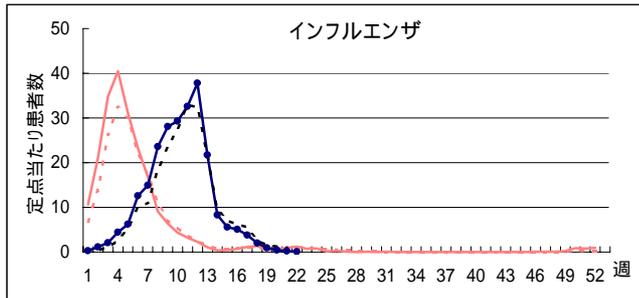
性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症およびPRSP感染症は増加しています。また、MRSA感染症は減少し、性器ヘルペスウイルス感染症および薬剤耐性緑膿菌感染症は報告されていません（詳細については性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照）。

各疾患の月別・性別発生状況は左記のグラフのとおりです。淋菌感染症は男性で、先月よりかなり多くなっており、年齢は20～39歳から報告されています。

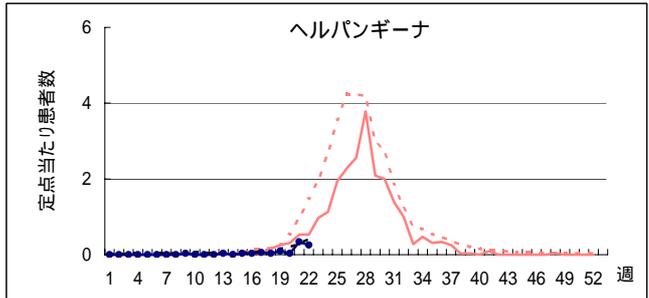
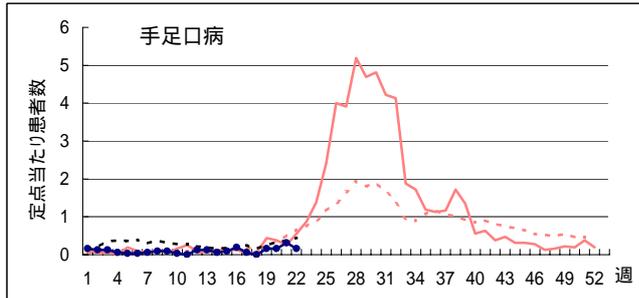
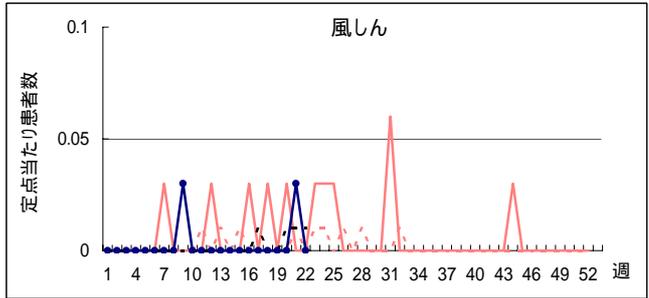
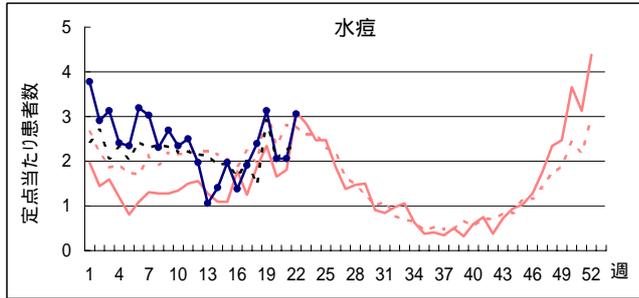
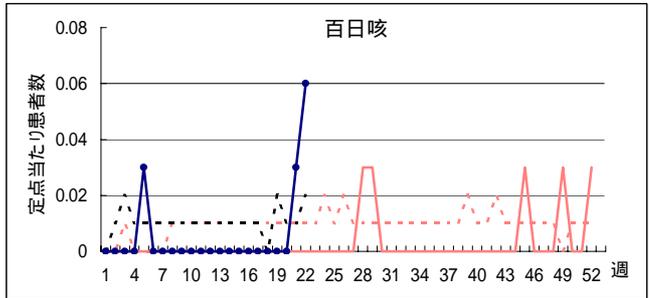
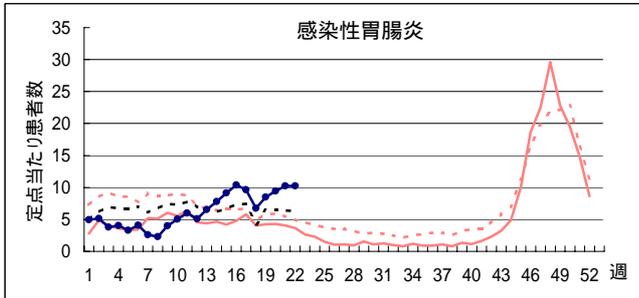
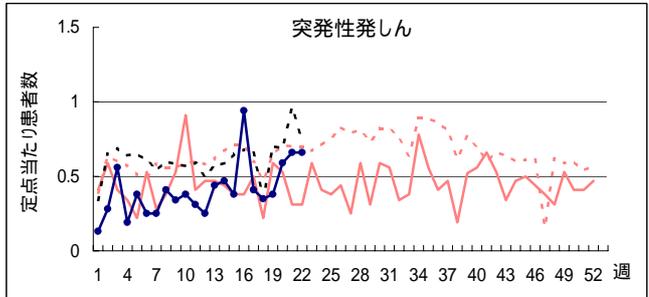
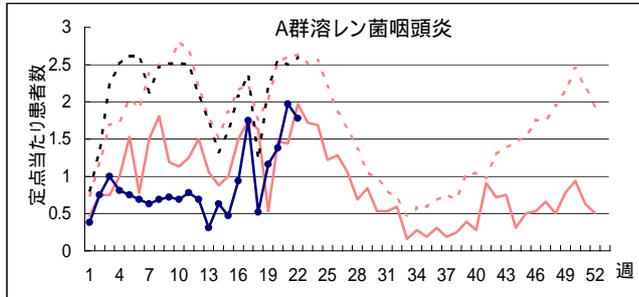
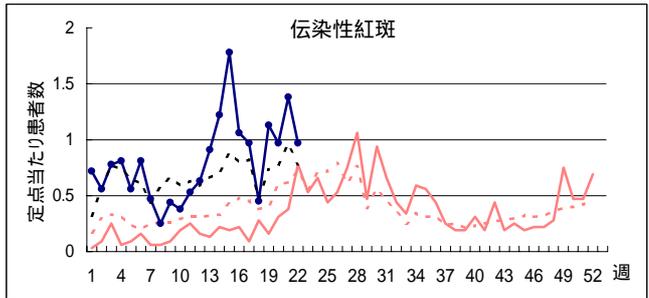
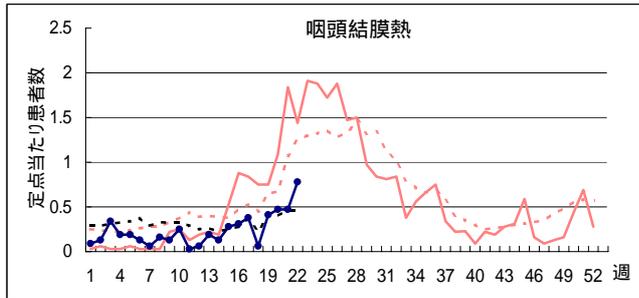
疾患別・年齢別発生状況 (H19.5)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第22週、H19.1.1～H19.6.3)



H18 { 滋賀 ————
 全国
 H19 { 滋賀 ●●●●●●
 全国 - - - - -



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第22週、H19.1.1～H19.6.3)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—
 全国 - - - - -

